

令和元年度 島根原子力発電所 防災訓練実施計画書【要素訓練】

1. 訓練目的

現状のプラント状態（島根原子力発電所2号機定期検査停止中）において、原子力災害に至る可能性がある燃料プール（以下「SFP」という。）水位低下事象に対し、本部と現場間の連携を含め実動で対応することにより、原子力防災組織の技能向上及び緊急時対応業務の習熟を図ることを目的とした要素訓練を実施する。

また、本訓練では、他電力事業者に当社の対応を観察（意見交換含む）して頂くことで改善事項を抽出し、当社の手順・運用に反映することで現場対応力向上を図っていく。

なお、原子力規制庁の『令和元年度評価指標（実用発電用原子炉）』における「指標7. 現場実働訓練の実施」の位置付けも兼ねて実施する。

2. 実施日時

令和2年3月10日（火）

訓練：13時10分～16時00分

訓練振り返り：16時00分～16時20分

3. 想定事象

（1）プラント状態

1号機：廃止措置中

2号機：定期検査停止中

3号機：建設中

（2）スキップの有無等

訓練中は事象の早回し及びスキップの実施なし

（3）情報付与

SFP水位のパラメータ等の必要な情報はコントローラから付与することとし、ERSSは使用しない。

4. 訓練項目

（1）要素訓練

- ①事故収束に向けた対処方針及び優先順位の検討・選定
- ②緊急時対策本部と水源確保現場との連携
- ③可搬型設備による水源からSFPへの注水（SFPへの注水は模擬）
- ④現場活動状況の緊急時対策本部への情報伝達

5. 訓練内容

(1) 実施体制

島根原子力発電所の単独訓練（本社との連携あり）

(2) 訓練参加者

役割	人数規模	
訓練者	緊急時対策本部：120名程度	現場：15名程度
コントローラ	緊急時対策本部：30名程度	現場：3名程度

6. 評価方法

(1) 社内評価

社内評価チェックシートを用いて活動を評価する。

(2) 第三者による評価（他電力事業者）

現場実動訓練観察チェックシートを用いて活動を評価する。

(3) 振り返り・質疑応答

他電力事業者からの訓練評価者と訓練参加者，社内評価者及び訓練事務局にて振り返り・質疑応答を実施し，改善事項を抽出する。

(4) 反省会

訓練参加者，社内評価者及び訓練事務局にて反省会を実施し，改善事項を抽出する。

以上